

静岡県月例経済報告

(平成31年1月号)

……平成30年11月を中心とした県内経済のすがた……

No. 513

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	12
・ 雇用面	14
・ その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成30年11月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成30年11月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復している。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(11月)は、百貨店が3か月連続、スーパーが2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(11月)は、家電大型専門店が6か月ぶり、ホームセンターが3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストアが2か月ぶり、ドラッグストアが21か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも6か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(11月)は、乗用車、軽自動車のいずれも2か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(11月)は、分譲住宅が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家が3か月連続、貸家が4か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(11月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(平成30年12月14日)の平成30年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(11月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、持ち直しの動きがみられる」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（11月）は、エアコン、自動車、自動車の部分品がいずれも2か月連続、二輪自動車類が10か月連続、科学光学機器が5か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が6か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（11月）は、魚介類及び同調製品、木材がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、パルプ、原動機がいずれも2か月連続、自動車の部分品が8か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも8か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、830億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きがみられる」

鉱工業生産指数（10月）は、はん用・生産用・業務用機械が12か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械が4か月連続、輸送機械、食料品・たばこが2か月連続、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも2か月ぶりに前年水準を上回ったことから、総合でも2か月ぶりに前年水準を上回った。また、5か月連続で上昇した。

なお、鉱工業在庫指数（10月）は、総合では13か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（11月）は1.64倍で、前月と同水準だった。また、58か月連続で1倍を上回った。なお、21か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（11月）は、64か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（10月）は、11か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（11月）は、前年同月比 1.6%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（11月）は、前年同月比 12.0%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産（12月）は、件数は17件（前年同月比 13.3%増）、負債総額は24億8,900万円（同98.3%増）と、いずれも前年実績を上回った。

<トピックス>

「生きる道」としての仕事を学ぶ環境づくり ～ 次世代の産業人材の育成 ～

県は、子どもたちが将来の仕事に夢を持てるよう、社会総がかりで教育を支えることが重要であるため、経済産業部と産業界とのネットワークを活かし、本物の仕事を現場で間近に「見て」、体で「感じ」、将来の仕事に「考える」機会を提供しています。

○ 現場体験の実施

子どもたちに商工業や農林水産業などの「技芸を磨く実学（農林水産業、工業、商業、芸術、スポーツ等の様々な分野で自らの才能を伸ばす実践的な学問）」の魅力を感じてもらうため、現場体験を行いました。今年度は県内3校から小学生約300人が参加しました。

<主な体験先>

- ・ ものづくり (株)カナサシ重工、(株)タミヤ、(株)ヤナギハラメカックス
- ・ 農林水産業 漁業高等学園、シーラック(株)、畜産技術研究所
- ・ インフラ 富士山静岡空港、新々富士川橋建設現場



本枯節と未加工の荒節を食べ比べ



カツオ一本釣り模擬体験



船底に潜り込む様子



熱心に耳を傾ける子どもたち

今後は体験先を充実し、実学の魅力を教員向けのガイドブックや映像で伝えていきます。特にプラモデルについては、静岡ホビーショー（2019年5月9日～12日）の前日（5月8日）に「小中高生招待日」を新たに設け、多くの子どものものづくりの奥深さを伝えます。



ふじのくにに見る、触れる、感動する場の体験ガイドブック



静岡ホビーショーとプラモデル

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

11月 = 33,659百万円

*前年同月比： 2.1%減

(県内3百貨店、135スーパー合計)

<概況>

11月の大型小売店販売額は33,659百万円で、前年同月比 2.1%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 1.4%減）が3か月連続、スーパー（同 2.3%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 5.8%減）、身の回り品（同 1.9%減）がいずれも5か月連続、飲食料品（同 0.6%減）が6か月ぶり、家庭用品（同 9.0%減）が14か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.2%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額(百万円)	32,240	32,970	33,375	35,213	33,855	32,358	33,408	33,659
前年同月比(%)	▲2.8	▲3.6	▲0.1	▲1.1	0.0	3.0	▲0.8	▲2.1
うち百貨店(%)	▲2.7	▲6.0	2.1	▲7.5	1.9	▲0.2	▲1.6	▲1.4
スーパー(%)	▲2.9	▲3.0	▲0.6	0.6	▲0.4	3.8	▲0.6	▲2.3
(参考1)全国前年同月比(%)	▲0.8	▲2.0	1.5	▲1.6	▲0.1	0.4	▲0.8	▲2.2
うち百貨店(%)	1.5	▲1.2	4.0	▲5.1	0.6	▲2.6	1.1	▲1.1
スーパー(%)	▲1.8	▲2.4	0.3	0.3	▲0.4	1.7	▲1.8	▲2.7
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲2.4	▲3.1	0.3	▲1.9	▲0.4	2.7	▲0.6	▲1.2

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
衣料品	▲2.8	▲6.3	0.4	▲7.8	▲1.5	▲0.7	▲7.0	▲5.8
うち紳士服・洋品	▲0.3	▲10.3	▲2.3	▲6.0	▲3.2	▲1.0	▲7.5	▲7.0
婦人・子供服・洋品	▲3.4	▲4.7	2.3	▲8.1	▲1.8	▲1.0	▲5.6	▲4.4
身の回り品	▲7.4	▲2.6	1.4	▲6.9	▲0.2	▲3.2	▲5.6	▲1.9
飲食料品	▲2.7	▲2.9	0.0	1.0	0.7	4.8	1.2	▲0.6
家庭用品	▲5.4	▲1.7	▲6.1	▲8.5	▲6.6	▲1.5	▲0.6	▲9.0
うち家庭用電気機械器具	1.7	9.0	17.5	6.7	▲1.4	10.8	8.4	▲6.7

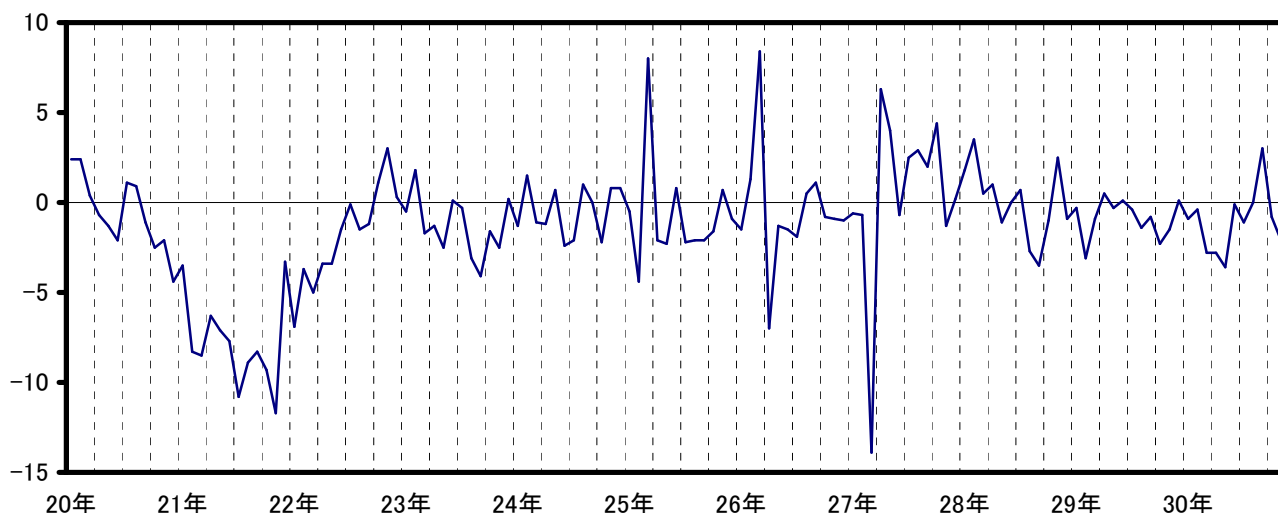
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

11月 = 65,461百万円

*前年同月比： 1.3%増

(県内96家電大型専門店、1,696コンビニエンスストア、484ドラッグストア、104ホームセンター合計)

<概況>

11月の専門量販店等販売額は65,461百万円で、前年同月比 1.3%増となり、6か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 2.4%減）が6か月ぶり、ホームセンター（同 1.4%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア（同 0.8%増）が2か月ぶり、ドラッグストア（同 4.9%増）が21か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額(百万円)	66,761	67,364	66,876	76,985	72,295	66,929	67,157	65,461
前年同月比(%)	3.0	▲ 0.8	3.1	2.7	1.9	5.1	4.3	1.3
うち 家電大型専門店(%)	2.3	▲ 0.6	9.8	4.1	2.7	10.8	1.7	▲ 2.4
コンビニエンスストア(%)	1.2	▲ 1.2	0.9	0.6	1.0	3.6	▲ 0.1	0.8
ドラッグストア(%)	7.4	3.1	4.9	6.9	4.3	6.4	7.4	4.9
ホームセンター(%)	▲ 0.2	▲ 7.6	0.1	▲ 1.0	▲ 1.0	1.4	15.5	▲ 1.4
(参考)全国前年同月比(%)	3.0	0.3	3.9	1.7	1.8	4.9	2.3	1.5

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

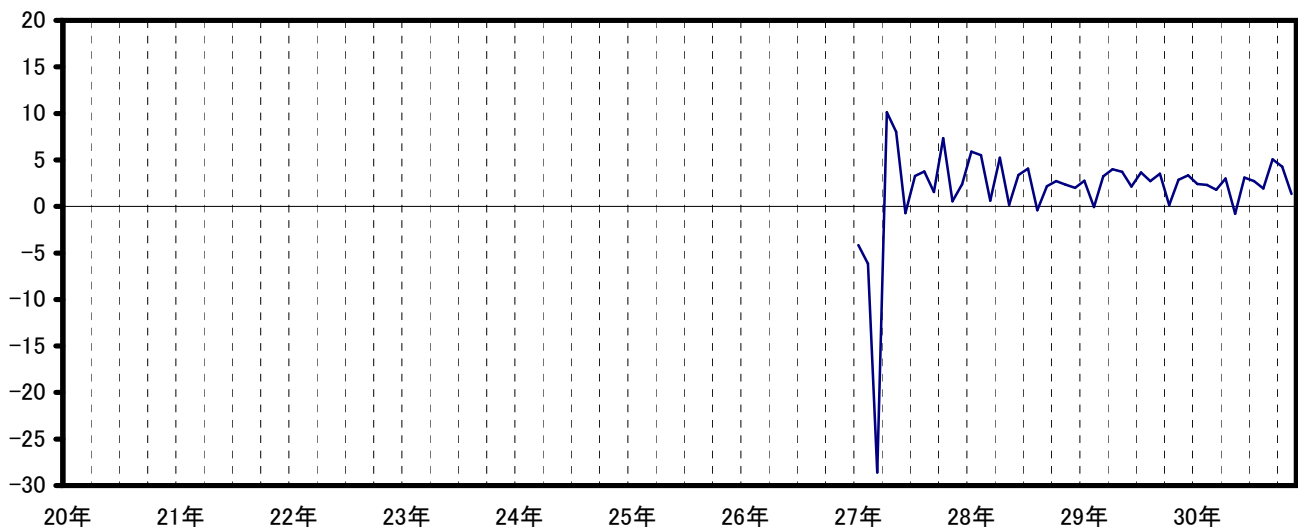
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

11月 = 14,723 台

*前年同月比： 9.6%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

11月の自動車(新車)新規登録台数は14,723台(前年同月比 9.6%増)と、2か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 9.8%増)、軽自動車(同 9.3%増)いずれも2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
登録台数(台)	11,883	12,332	15,629	14,618	12,013	16,766	14,092	14,723
前年同月比(%)	1.0	▲ 0.5	▲ 3.0	2.4	1.9	▲ 2.3	13.8	9.6
(参考)全国前年同月比(%)	2.6	▲ 1.5	▲ 5.3	3.3	4.0	▲ 3.3	11.6	7.4

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

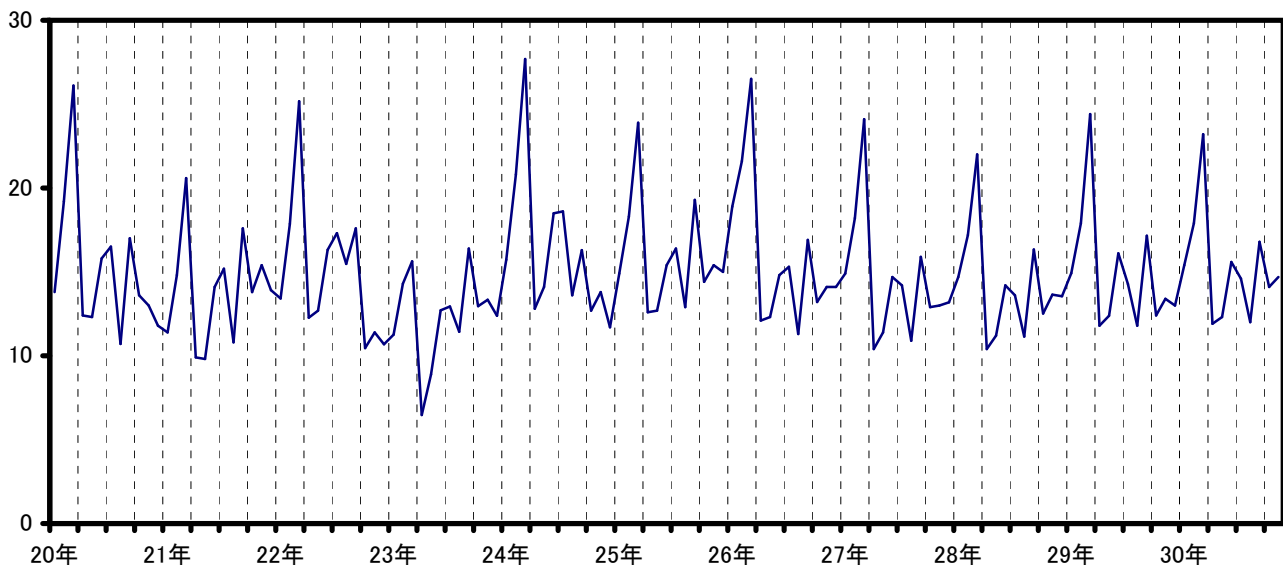
	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全乗用車	1.0	▲ 0.5	▲ 3.0	2.4	1.9	▲ 2.3	13.8	9.6
乗用車	▲ 2.7	▲ 1.4	▲ 9.0	▲ 0.4	▲ 3.0	▲ 3.1	15.7	9.8
軽自動車	5.6	0.8	6.2	6.0	8.7	▲ 1.2	11.6	9.3

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

11月 = 1,950 戸

*前年同月比： 7.1%増

<概況>

11月の新設住宅着工戸数は1,950戸で、前年同月比 7.1%増と、3か月連続で前年実績を上回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 2.0%減）が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家（同 3.7%増）が3か月連続、貸家（同 19.2%増）が4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

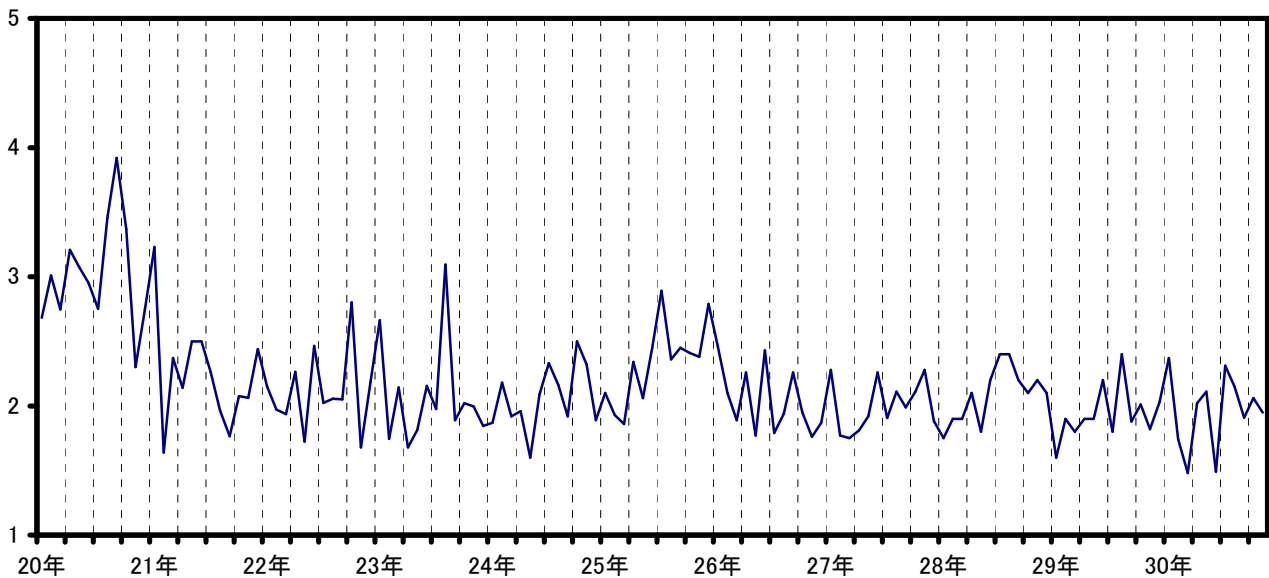
	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
戸数 (戸)	2,015	2,108	1,489	2,309	2,152	1,908	2,059	1,950
前年同月比 (%)	7.0	8.8	▲ 32.6	25.6	▲ 9.8	1.6	2.3	7.1
うち持家 (%)	5.3	4.5	▲ 25.4	4.1	▲ 1.9	4.7	8.3	3.7
貸家 (%)	8.6	9.0	▲ 46.7	70.1	▲ 26.8	▲ 10.2	▲ 7.5	19.2
分譲住宅 (%)	11.1	21.8	▲ 23.2	30.9	7.2	36.4	5.8	▲ 2.0
(参考)全国前年同月比 (%)	0.3	1.3	▲ 7.1	▲ 0.7	1.6	▲ 1.5	0.3	▲ 0.6

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

11月 = 14,829百万円

*前年同月比： 6.2%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

11月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は14,829百万円で、前年同月比6.2%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は690件で、前年同月比3.4%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
金額(百万円)	61,467	30,683	30,461	29,729	28,357	41,187	23,847	14,829
前年同月比(%)	11.6	53.1	▲6.8	9.9	16.8	▲9.9	12.5	6.2
年度累計前年同月比(%)	11.6	22.6	13.7	12.9	13.5	8.3	8.7	8.6
件数(件)	586	564	707	872	857	1,185	738	690
前年同月比(%)	18.4	20.8	▲1.9	17.0	8.2	▲13.6	1.2	3.4
年度累計前年同月比(%)	18.4	19.5	10.3	12.4	11.4	3.9	3.6	3.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

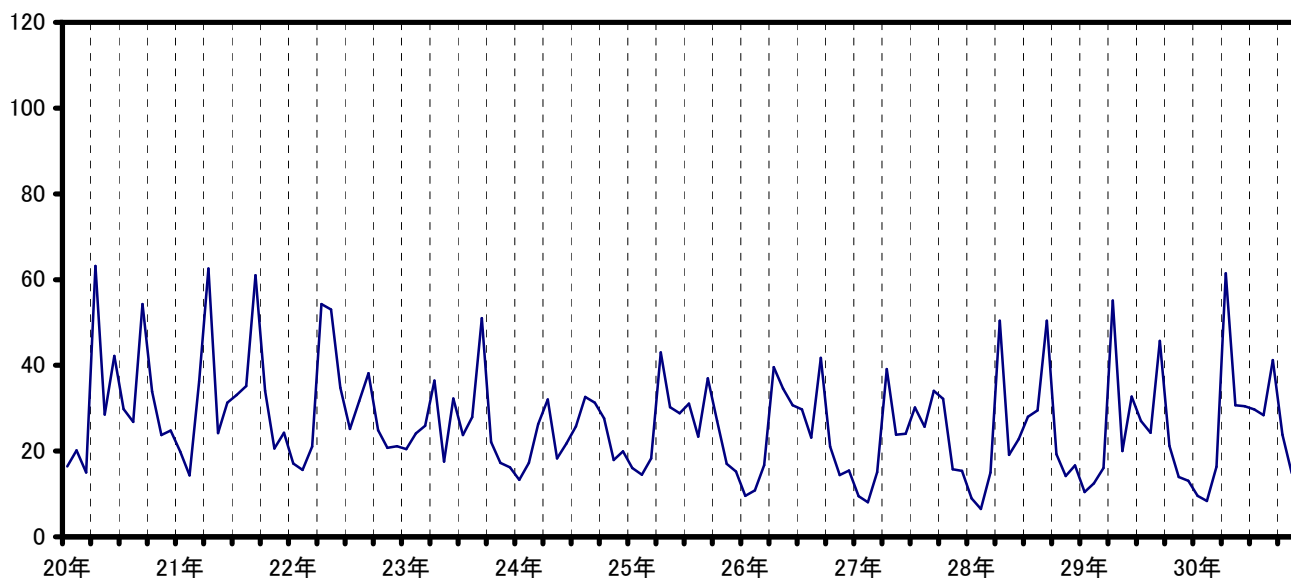
	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国	9.2	122.3	113.4	129.5	▲0.8	▲54.8	▲25.9	▲29.2
独立行政法人等	▲8.5	61.9	▲65.3	488.7	▲35.1	238.5	424.5	164.3
県	▲2.0	8.7	4.3	45.6	20.6	▲12.0	2.4	▲12.1
市町	70.0	13.6	▲17.3	0.2	21.1	▲16.2	14.6	▲0.8
地方公社	204.5	1,292.4	—	▲95.2	▲91.5	▲32.1	290.5	467.9
その他	▲5.1	—	2.8	▲76.8	106.3	▲59.7	▲58.2	440.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成29年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 9.6%増）、非製造業（同 7.2%増）、全産業（同 8.5%増）の全てにおいて増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 11.7%増）、非製造業（同 8.1%増）、全産業（同 10.8%増）の全てにおいて増加する計画となっている。

11月の着工建築物床面積（非居住用）は87,374㎡で、前年同月比 9.6%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	2.8	(▲3.3) 8.5
	全国	4.4	(1.7) 10.4
製造業	県	3.2	(▲3.5) 9.6
	全国	6.3	(▲0.9) 15.4
非製造業	県	2.3	(▲3.0) 7.2
	全国	3.4	(3.3) 7.5

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	5.3	(▲2.2) 10.8
	全国	4.6	(0.3) 9.6
製造業	県	6.8	(▲2.2) 11.7
	全国	4.4	(▲0.6) 10.3
非製造業	県	1.4	(▲2.2) 8.1
	全国	4.8	(1.3) 8.8

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成30年12月調査)」

<最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	162,014	179,797	136,094	284,663	153,769	236,654	115,833	87,374
前年同月比（%）	8.1	24.0	▲22.8	142.5	17.2	187.3	▲1.5	▲9.6
(参考) 全国前年同月比（%）	0.5	▲6.8	▲5.0	8.8	▲10.9	▲7.3	▲3.2	▲7.0

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	30年9月	30年12月	31年3月 (予測)
全産業	14	14	10
製造業	20	14	9
非製造業	9	14	11
(参考) 全国・全産業	15	16	10

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年12月調査)」

5 輸出

11月 = 180,078百万円

*前年同月比： 0.7%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸出総額は180,078百万円で、前年同月比 0.7%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 8.1%減）、自動車（同 11.6%減）、自動車の部分品（同 9.6%減）がいずれも2か月連続、二輪自動車類（同 7.8%減）が10か月連続、科学光学機器（同 10.8%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 21.1%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 0.3%減）が9か月ぶり、EU向け（同 7.4%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、米国向け（同 11.0%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸出総額(百万円)	188,363	158,117	193,158	182,834	174,267	192,397	186,630	180,078
前年同月比(%)	▲1.8	5.6	10.4	▲1.1	1.7	9.3	0.6	0.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
原動機	▲1.7	▲5.9	6.0	1.0	11.8	29.1	38.9	21.1
エアコン	21.2	▲3.6	32.1	12.6	10.4	2.2	▲20.4	▲8.1
自動車	14.7	192.2	8.0	▲19.3	▲23.3	33.3	▲25.8	▲11.6
自動車の部分品	▲9.0	0.5	11.6	7.7	0.0	12.1	▲2.8	▲9.6
二輪自動車類	▲18.6	▲37.3	▲12.6	▲20.4	▲27.8	▲19.2	▲17.9	▲7.8
科学光学機器	▲1.6	43.5	10.8	▲4.2	▲18.9	▲14.8	▲5.4	▲10.8

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	0.1	5.1	18.5	7.6	2.8	9.1	2.8	▲0.3
米国	▲9.0	▲7.5	9.2	▲8.2	14.7	2.5	18.7	11.0
EU	▲2.4	17.4	▲16.0	▲13.8	▲15.8	25.0	▲20.0	▲7.4

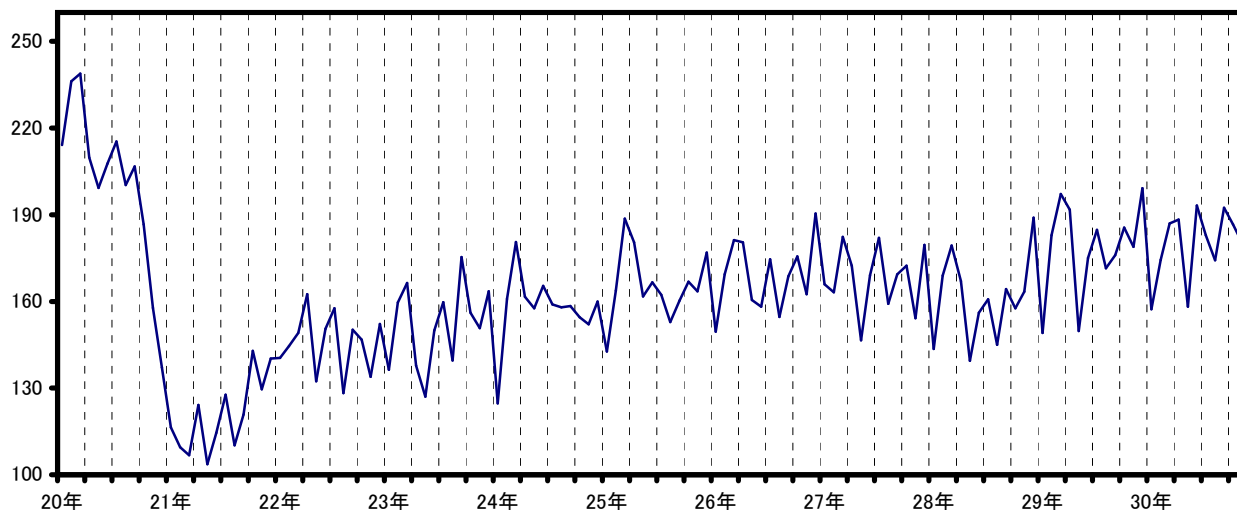
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

11月 = 97,052百万円

*前年同月比： 8.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸入総額は97,052百万円で、前年同月比 8.3%増となり、8か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 21.6%減）、木材（同 26.4%減）がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品（同 18.6%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、パルプ（同 13.8%増）、原動機（同 53.9%増）がいずれも2か月連続、自動車の部分品（同 44.4%増）が8か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、EUから（前年同月比 5.2%減）が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジアから（同 25.7%増）が2か月連続、米国から（同 2.4%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸入総額(百万円)	93,691	97,600	87,832	96,108	89,368	84,671	104,994	97,052
前年同月比(%)	18.9	21.5	4.9	17.0	4.6	1.2	43.2	8.3

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
魚介類及び同調製品	34.0	30.9	2.9	▲ 5.8	▲ 8.4	▲ 15.5	35.3	▲ 21.6
木材	10.7	13.5	▲ 1.7	23.4	▲ 6.0	▲ 21.5	2.3	▲ 26.4
パルプ	24.7	18.4	8.3	47.4	6.5	▲ 24.0	81.0	13.8
紙類及び同製品	▲ 2.6	44.8	35.3	▲ 5.4	▲ 19.3	9.4	5.2	▲ 18.6
原動機	▲ 27.6	109.2	8.7	3.5	51.7	▲ 21.0	40.0	53.9
自動車の部分品	10.0	7.9	24.6	48.9	13.9	33.2	30.7	44.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

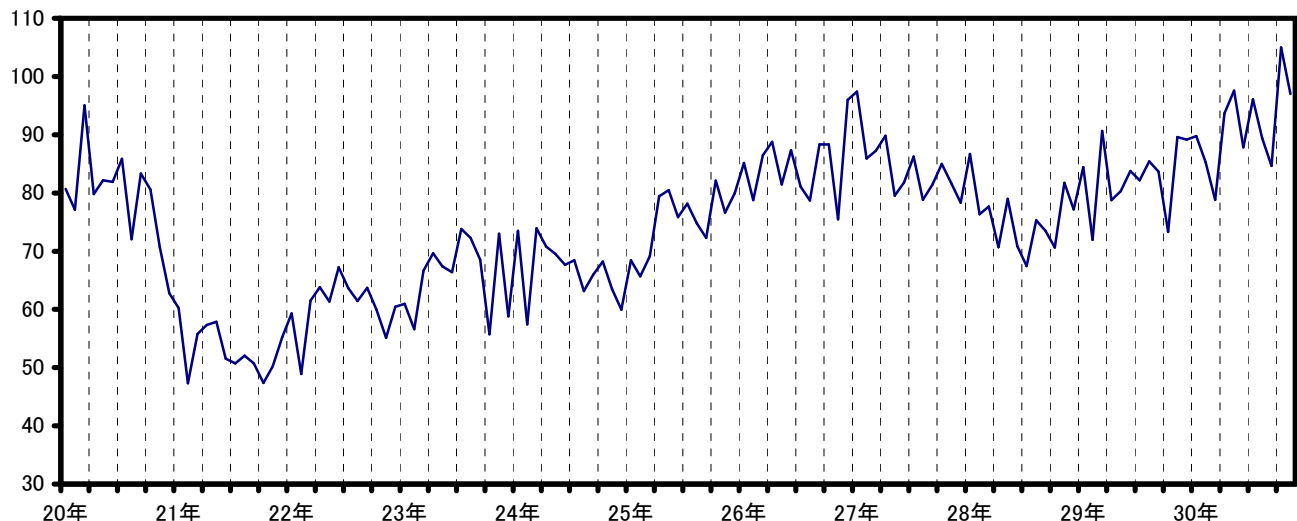
	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	11.2	27.6	1.9	19.9	8.7	▲ 5.7	35.1	25.7
米国	▲ 5.7	12.3	▲ 6.7	8.4	21.8	▲ 19.9	▲ 13.8	2.4
EU	20.0	10.1	▲ 1.5	3.9	14.2	2.0	55.9	▲ 5.2

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

10月 = 97.0

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.0%増

*前年同月比(原指数) : 3.5%増

<概況>

10月の鉱工業生産指数(総合)は97.0(季節調整済指数)で、前月比1.0%増と、5か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は3.5%増と、2か月ぶりに前年水準を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比12.9%減)が12か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同18.3%増)が4か月連続、輸送機械(同2.1%増)、食料品・たばこ(同6.8%増)が2か月連続、化学(同6.6%増)、パルプ・紙・紙加工品(同0.1%増)がいずれも2か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	92.1	92.8	91.8	92.9	93.1	94.4	96.0	97.0
前月比(%)	▲0.3	0.8	▲1.1	1.2	0.2	1.4	1.7	1.0
前年同月比(%)	▲3.7	▲0.2	0.0	▲1.9	2.4	1.1	0.0	3.5
(参考)全国前年同月比(%)	2.2	2.5	4.2	▲1.2	2.3	0.6	▲2.9	4.2

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲8.6	▲2.4	▲13.2	▲11.0	▲11.0	▲4.2	▲1.1	▲12.9
電気機械工業	3.8	1.1	▲3.1	▲7.8	5.0	6.2	6.8	18.3
輸送機械工業	▲10.3	▲4.6	0.8	3.2	6.8	▲2.8	0.4	2.1
化学工業	2.7	▲1.9	9.1	▲2.3	4.6	9.0	▲2.9	6.6
パルプ・紙・紙加工品工業	0.7	▲1.9	0.5	▲1.3	1.3	0.1	▲0.1	0.1
食料品・たばこ工業	▲2.2	10.5	▲4.2	▲0.4	▲2.7	▲3.3	1.6	6.8

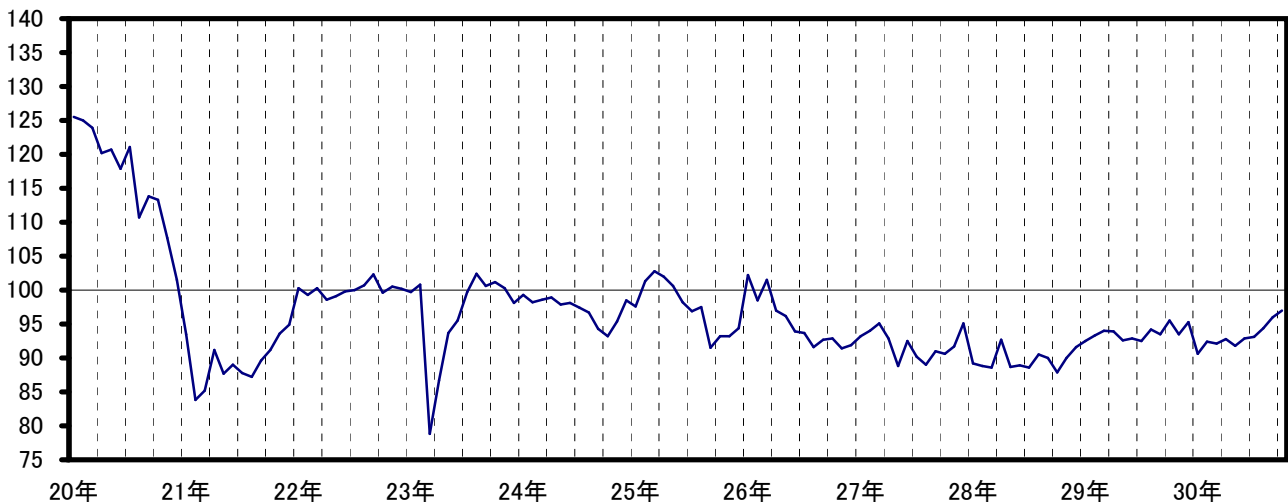
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

10月 = 124.6

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.2%減

*前年同月比(原指数) : 6.4%増

<概況>

10月の鋳工業在庫指数(総合)は124.6(季節調整済指数)で、前月比は3.2%減と、3か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は6.4%増と、13か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比9.1%増)が10か月連続、電気機械(同1.7%増)が6か月ぶり、化学(同34.3%増)が17か月連続、食料品・たばこ(同1.1%増)が5か月ぶりに前年水準を上回ったものの、輸送機械(同10.5%減)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同8.7%減)が16か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	125.3	123.8	126.1	123.7	122.7	124.9	128.7	124.6
前月比(%)	1.1	▲1.2	1.9	▲1.9	▲0.8	1.8	3.0	▲3.2
前年同月比(%)	8.1	7.1	10.2	6.1	7.5	9.6	13.8	6.4
(参考)全国前年同月比(%)	4.1	1.9	2.5	2.5	2.8	2.9	5.5	▲0.8

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はん用・生産用・業務用機械工業	5.8	8.3	7.1	0.8	8.9	10.2	6.9	9.1
電気機械工業	▲3.2	4.9	▲1.4	▲14.0	▲10.7	▲12.8	▲2.9	1.7
輸送機械工業	▲7.8	▲13.7	▲11.6	▲26.8	▲18.4	▲12.7	9.1	▲10.5
化学工業	50.8	48.0	60.5	49.3	41.7	44.9	50.8	34.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲8.6	▲9.2	▲9.9	▲8.5	▲6.9	▲4.8	▲1.3	▲8.7
食料品・たばこ工業	2.8	3.0	0.4	▲7.5	▲5.8	▲1.0	▲3.0	1.1

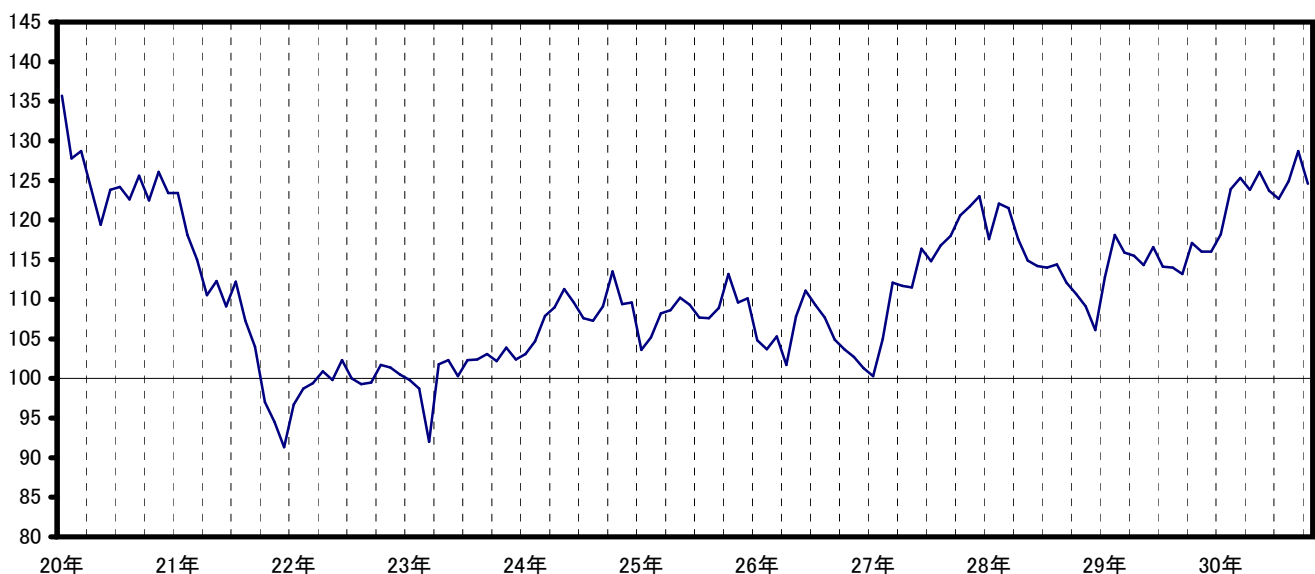
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

11月 = 1.64倍

*前月比（季節調整値）： 同水準

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

11月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.64倍となり、前月と同水準だった。また、21か月連続で全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 0.2%減）は3か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比 1.2%減）が4か月連続、情報通信業（同 3.7%減）、卸売業・小売業（同 14.1%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同 1.4%減）がいずれも3か月連続、医療・福祉（同 4.4%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業（同 10.5%増）、運輸業・郵便業（同 17.1%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
県	1.68	1.70	1.72	1.73	1.70	1.70	1.64	1.64
全 国	1.59	1.60	1.62	1.63	1.63	1.64	1.62	1.63

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建 設 業	0.1	4.5	3.9	6.6	▲ 1.7	▲ 10.4	▲ 8.5	▲ 1.2
製 造 業	21.3	26.2	0.3	11.8	17.1	▲ 4.8	16.7	10.5
情 報 通 信 業	11.2	▲ 16.5	24.4	▲ 1.5	2.9	▲ 11.4	▲ 31.1	▲ 3.7
運 輸 業 ・ 郵 便 業	4.3	16.1	22.9	16.2	10.7	▲ 3.5	6.5	17.1
卸 売 業 ・ 小 売 業	0.7	5.9	1.2	▲ 7.5	0.9	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 14.1
医 療 ・ 福 祉	3.1	4.0	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 4.2	▲ 2.9	▲ 10.1	▲ 4.4
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 5.9	28.4	1.4	21.4	5.1	▲ 18.1	▲ 4.5	▲ 1.4
合 計	2.1	14.2	3.9	6.6	4.6	▲ 9.1	▲ 1.3	▲ 0.2

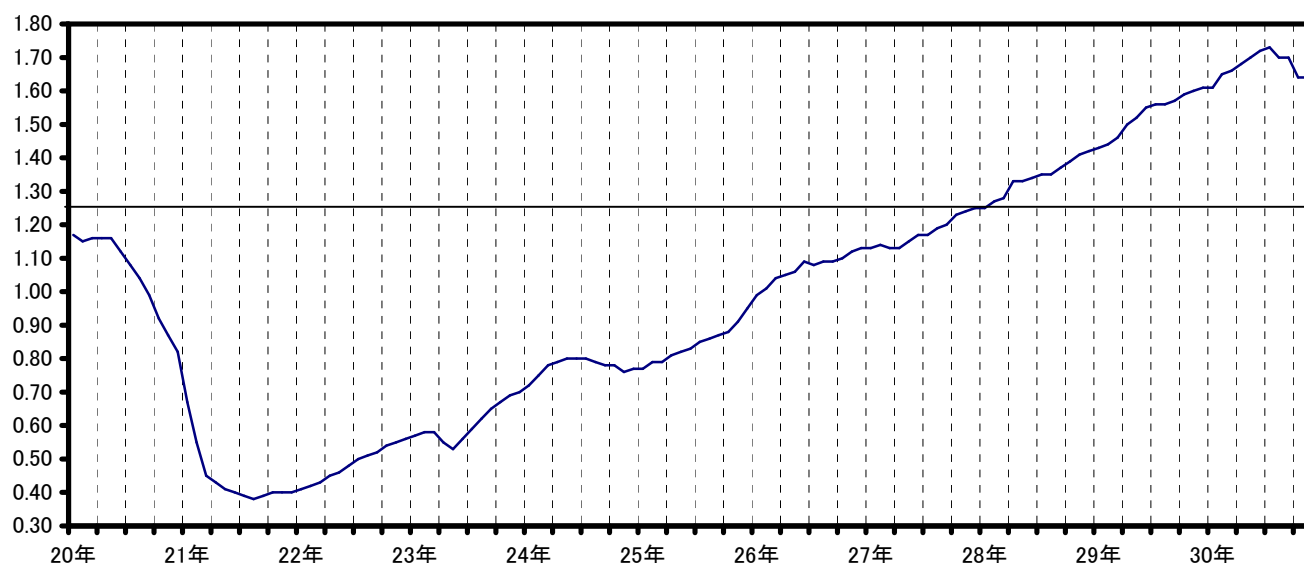
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

11月 = 10,196人

*前月比: 6.3%減

*前年同月比: 6.0%減

<概況>

11月の雇用保険受給者実人員は10,196人で、前月比は6.3%減と、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は6.0%減と64か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.5%で、前月から0.1ポイント悪化した。
 静岡県(平成30年7~9月)の完全失業率は2.0%で、前期(30年4~6月)と同水準だった。

<最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実人員(人)	9,236	10,839	10,513	10,974	11,407	10,605	10,885	10,196
前月比(%)	▲2.4	17.4	▲3.0	4.4	3.9	▲7.0	2.6	▲6.3
前年同月比(%)	▲3.1	▲0.5	▲4.6	▲1.1	▲3.7	▲5.6	▲2.0	▲6.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.5	▲0.9	▲5.2	▲0.3	▲2.3	▲1.6	0.8	▲1.0

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完全失業率(全国)(%)	2.5	2.2	2.4	2.5	2.4	2.3	2.4	2.5

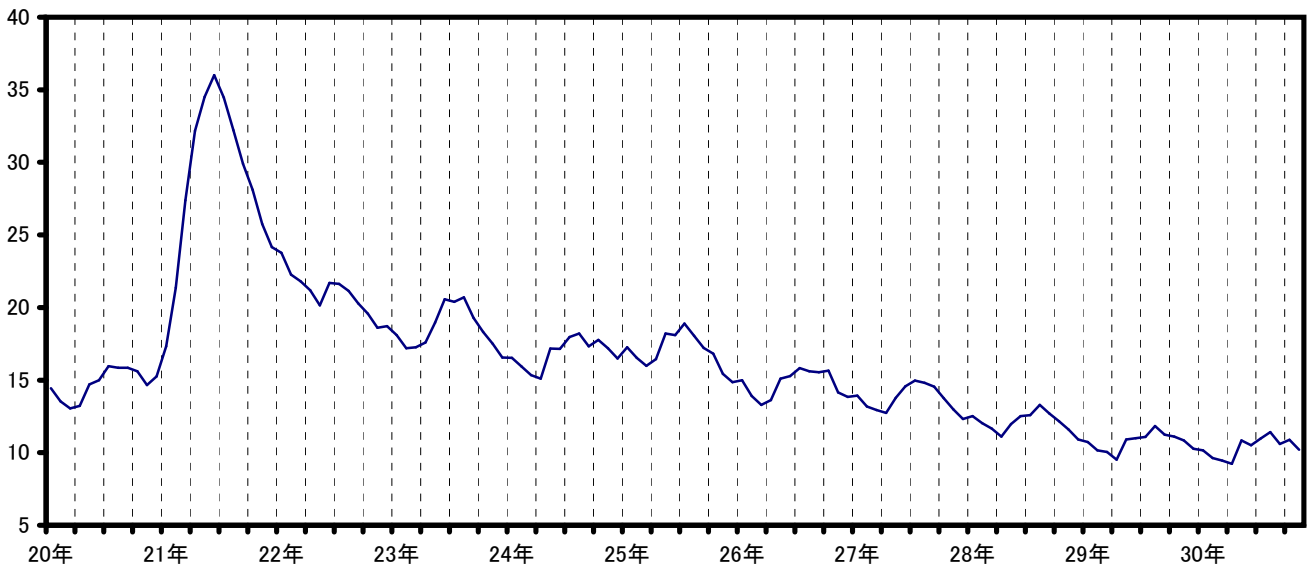
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

10月 = 96.4

*前月比(季節調整済指数): 5.8%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 7.3%減

<概況>

10月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は96.4(季節調整済指数)で、前月比 5.8%増となった。また、前年同月比(原指数)は7.3%減と11か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、製造業(前年同月比 1.6%増)が3か月ぶり、情報通信業(同 105.8%増)が12か月連続、その他のサービス業(同 7.4%増)が10か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同 44.6%減)が5か月連続、運輸業・郵便業(同 10.5%減)が8か月連続、卸売業・小売業(同 2.6%減)が4か月ぶり、医療・福祉(同 16.1%減)が4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	91.6	92.0	97.1	93.9	97.8	98.0	91.1	96.4
前月比(%)	▲ 2.8	0.4	5.5	▲ 3.3	4.2	0.2	▲ 7.0	5.8
前年同月比(%)	▲ 10.2	▲ 11.1	▲ 6.2	▲ 9.9	▲ 5.5	▲ 3.8	▲ 13.4	▲ 7.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 1.6	▲ 1.5	0.8	0.8	0.0	▲ 2.5	▲ 1.7	1.6

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建設業	▲ 51.0	▲ 17.2	284.8	▲ 44.5	▲ 33.8	▲ 53.1	▲ 62.4	▲ 44.6
製造業	▲ 11.4	▲ 6.0	▲ 7.9	▲ 0.5	3.2	▲ 1.7	▲ 7.0	1.6
情報通信業	65.9	27.9	83.7	86.6	75.2	105.0	85.7	105.8
運輸業・郵便業	▲ 3.5	▲ 7.1	▲ 10.7	▲ 10.1	▲ 11.0	▲ 7.7	▲ 10.1	▲ 10.5
卸売業・小売業	19.0	26.8	▲ 7.1	▲ 10.9	9.2	4.4	6.4	▲ 2.6
医療・福祉	▲ 5.3	▲ 8.0	▲ 26.2	1.6	▲ 15.9	▲ 1.4	▲ 20.4	▲ 16.1
その他のサービス業	29.1	43.4	15.1	20.0	8.0	10.1	6.8	7.4
調査産業計	▲ 10.2	▲ 11.1	▲ 6.2	▲ 9.9	▲ 5.5	▲ 3.8	▲ 13.4	▲ 7.3

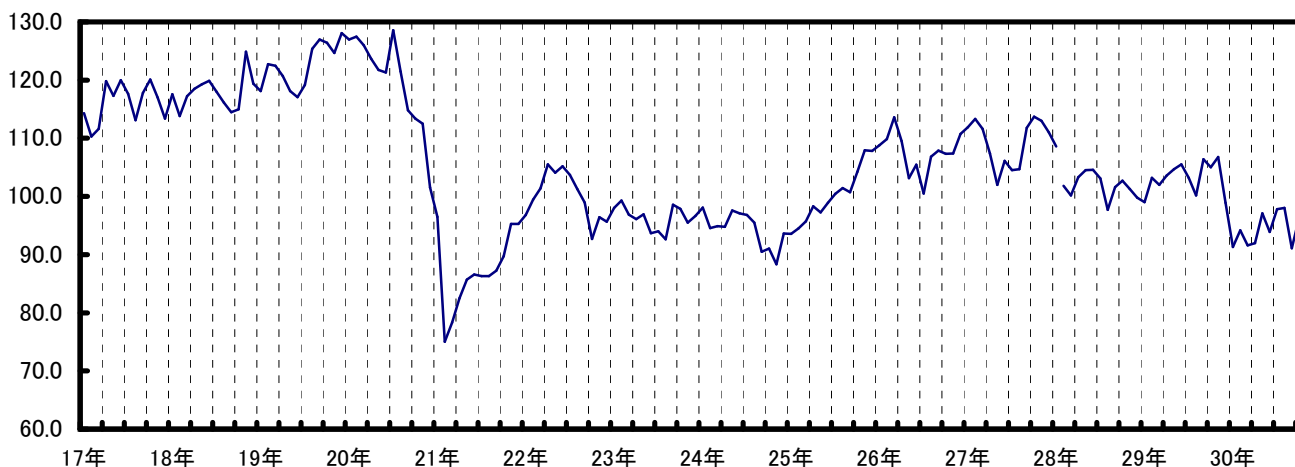
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

12月 = 101.5

(平成27年=100)

*前月比: 0.6%下落

*前年同月比: 1.5%上昇

<概況>

12月の国内企業物価指数は101.5となり、前月比は0.6%の下落となった。また、前年同月比は1.5%の上昇となった。

<最近の動き>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国内企業物価指数	101.0	101.3	101.7	101.7	102.0	102.4	102.1	101.5
前月比 (%)	0.5	0.3	0.4	0.0	0.3	0.4	▲ 0.3	▲ 0.6
前年同月比 (%)	2.6	2.8	3.0	3.0	3.0	3.0	2.3	1.5

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

11月 = 137,406億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 同水準

*前年同月比: 1.6%減

<概況>

11月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は137,406億円で、前月と同水準だった。また、前年同月比は1.6%の減少となった。

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出残高(億円)	139,122	138,727	139,354	138,340	138,099	138,887	137,361	137,406
前月比 (%)	▲ 1.1	▲ 0.3	0.5	▲ 0.7	▲ 0.2	0.6	▲ 1.1	0.0
前年同月比 (%)	0.4	0.2	0.1	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 1.5	▲ 1.4	▲ 1.6

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

11月 = 1.952%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.018ポイント減

*前年同月差: 0.165ポイント減

<概況>

11月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.952%で、前月から0.018ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.165ポイントのマイナスとなった。

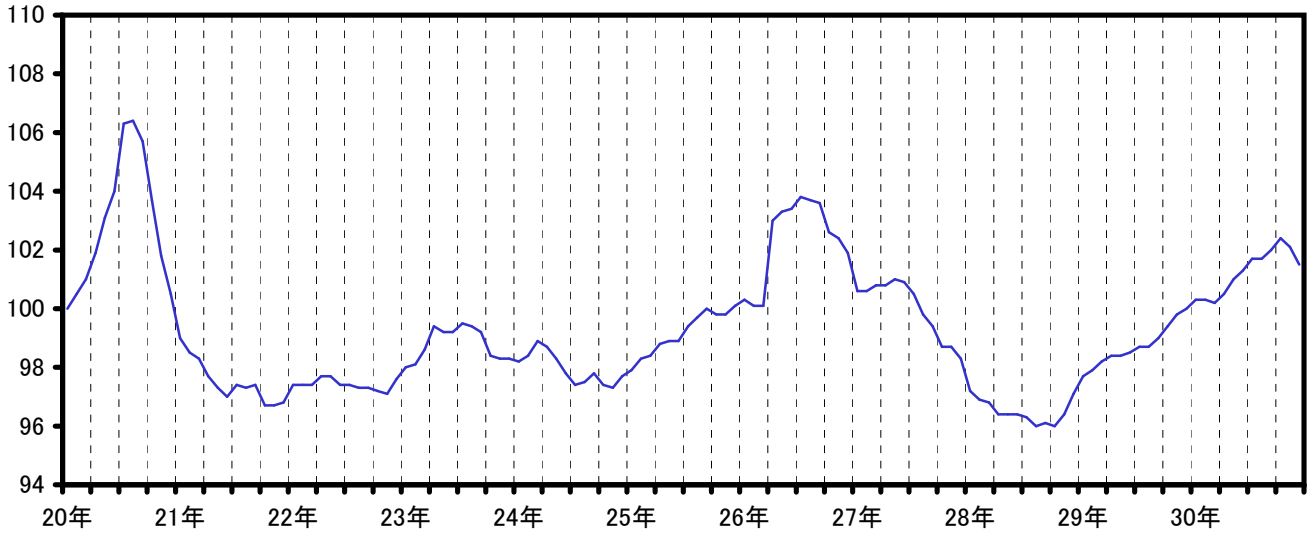
	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出約定金利 (%)	2.070	2.048	2.022	2.018	1.999	1.977	1.970	1.952
前月差(ポイント)	▲ 0.002	▲ 0.022	▲ 0.026	▲ 0.004	▲ 0.019	▲ 0.022	▲ 0.007	▲ 0.018
前年同月差(ポイント)	▲ 0.063	▲ 0.083	▲ 0.101	▲ 0.102	▲ 0.123	▲ 0.134	▲ 0.153	▲ 0.165

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

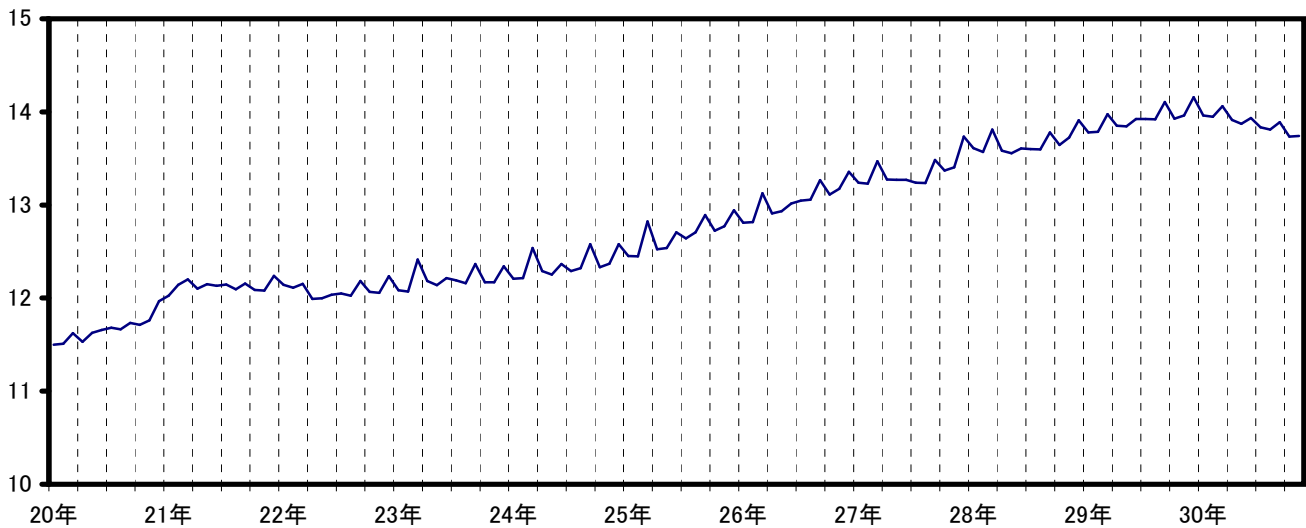
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



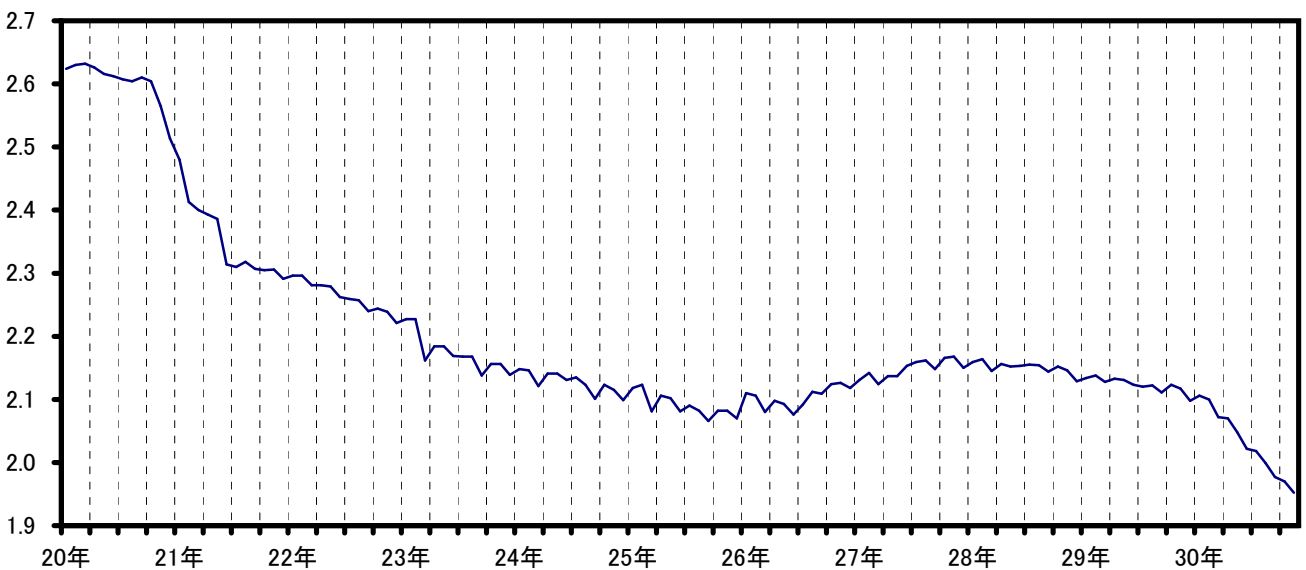
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**11月 = 17,768百万円**

*前年同月比： 12.0%減

<概況>

11月の保証承諾は、金額は17,768百万円（前年同月比 12.0%減）、件数は1,744件（同 9.6%減）と、いずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
保証金額（百万円）	12,080	17,993	18,336	19,024	19,715	18,648	16,121	17,768
前年同月比（%）	3.3	27.2	▲ 4.9	9.3	8.7	▲ 3.5	1.5	▲ 12.0
保証件数（件）	1,421	1,786	1,958	1,920	1,989	1,859	1,692	1,744
前年同月比（%）	3.0	11.1	▲ 1.4	10.5	2.9	▲ 7.5	3.5	▲ 9.6

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**12月 = 112.45円/ドル**

*前月差： 0.92円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 0.52円高

<概況>

12月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は112.45円で、前月と比べて0.92円の円高となり、4か月ぶりの円高となった。

<最近の動き>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均相場（円）	109.69	110.03	111.37	111.06	111.89	112.78	113.37	112.45
前月差（円）	2.26	0.34	1.34	▲ 0.31	0.83	0.89	0.59	▲ 0.92
前年同月差（円）	▲ 2.52	▲ 0.88	▲ 1.07	1.15	1.21	▲ 0.18	0.45	▲ 0.52

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****12月 = 17件**

*前年同月比： 13.3%増

<概況>

12月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は17件（前年同月比 13.3%増）、負債総額は2,489百万円（同 98.3%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が17件と全体の100.0%を占め、253か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

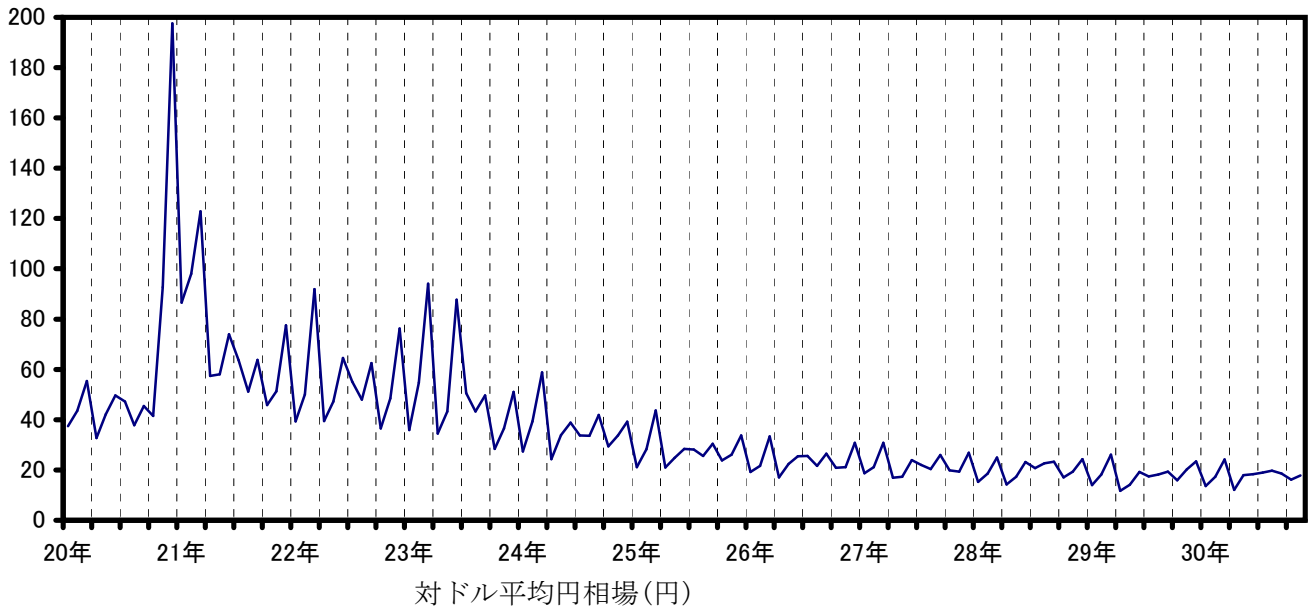
	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
倒産件数（件）	24	27	16	22	10	20	17	17
前年同月比（%）	33.3	17.3	▲ 40.7	4.7	▲ 56.5	▲ 13.0	▲ 19.0	13.3
うち不況型倒産件数（件）	23	22	15	20	9	15	15	17
負債総額（百万円）	3,066	5,345	2,099	2,327	662	3,587	2,238	2,489
前年同月比（%）	31.1	81.8	▲ 33.5	38.5	▲ 57.5	1.2	▲ 73.3	98.3

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

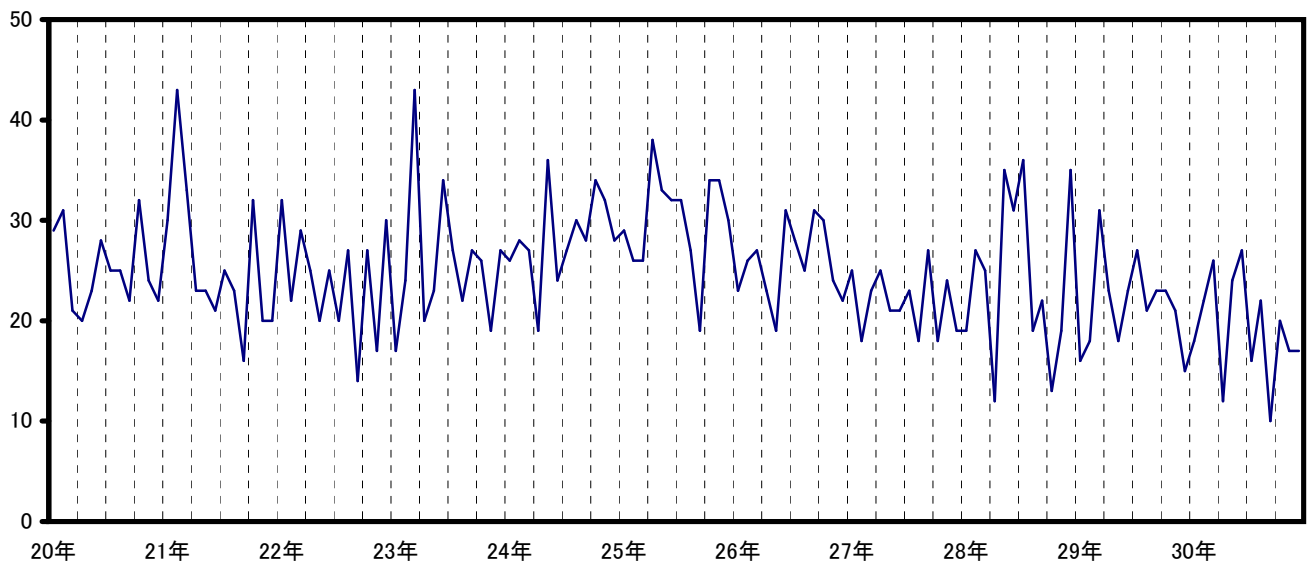
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成30年11月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>10月の国内二輪車生産台数は、62,240台（前年同月比 19.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、10,928台（同 36.5%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、8,289台（同 97.6%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、6,108台（同 16.0%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、36,915台（同 12.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、33,327台（同 13.4%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、39,718台（同 20.8%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>10月の自動車国内生産台数は、883,751台（前年同月比 6.3%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。輸出は427,073台（同 3.8%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が5か月ぶり、トラックが2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>11月の冷蔵庫の国内出荷額は254億円（前年同月比 16.9%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回り、国内出荷台数は221千台（同 14.7%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>11月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは493千台（同 13.3%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。業務用は74千台（同 14.1%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>10月の携帯電話の国内出荷台数は、944千台（同 3.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、561千台（同 6.8%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は 59.5%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>11月の工作機械の受注総額は、1,316億500万円（前年同月比 17.0%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は740億2,900万円（同 28.9%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが284億8,900万円（同 49.9%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。内需は575億7,600万円（同 6.0%増）と、22か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「人手不足の企業がある」という声や「受注好調ながら一部調達部品の品薄感から仕入価格が上昇し、収益圧迫の一因となっている」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>11月の県内楽器メーカーの販売金額は、56億9,045万円（前年同月比 11.0%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが28億7,890万円（同 21.6%増）と、国内向けが28億1,155万円（同 1.9%増）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,224台（同 12.2%増）だった。機種別では、アップライトピアノが2,150台（同 13.2%増）、グランドピアノが1,074台（同 10.3%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,291台（同 28.4%増）、国内向けが1,449台（同 8.3%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>11月の紙・板紙の国内出荷高は、2,133千トン（前年同月比 0.2%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は1,115千トン（同 1.5%減）と、18か月連続で前年実績を下回った。板紙は1,018千トン（同 1.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、623千トン（同 0.1%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った*1。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、153千トン（同 0.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>*1先月は速報値により17か月連続で減少したと発表したが、確報値では、前年実績と横ばいに訂正された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>11月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,034千箱（前年同月比 4.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は726千箱（同 2.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は553千箱（同 7.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は308千箱（同 8.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,005千箱（同 10.4%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>11月の広幅織物の県内生産は、1,718千㎡（前年同月比 2.4%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,622千㎡（同 0.1%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、96千㎡（同 64.2%増）と、14か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、31千㎡（同 5.4%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>11月の全国百貨店での家具販売額は、61億330万円（前年同月比 12.8%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、642億6,385万円（同 2.0%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>11月の県内百貨店・スーパーの販売額は、33,659百万円と、前年実績を下回った。品目別に見ると、「衣料品」、「身の回り品」、「飲食料品」、「家庭用品」、「その他の商品」、「食堂・喫茶」と全ての項目で、前年実績を下回る結果となった。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りによると、チラシの折込回数を減らしたことや競合店が新企画を実施したこと等による来客数の減少に伴い、売上げは減少した。また、西部の総合スーパーへの聞き取りでは、昨年は不作だったみかんが今年は豊作であるため売上げも好調だったが、暖冬のため、衣料品の販売が振るわず、全体としての売上げは横ばいであった。西部の百貨店への聞き取りによると、暖冬の影響による衣料品の販売の不調に加え、お歳暮の販売数の減少等により、売上げは減少した。</p> <p>11月には、沼津の商店街で、車道を封鎖し、歩行空間としての活用を考える社会実験である「arcomichi(アルコミチ)」が行われた。イベント期間の4日間、市内各所の23店舗の露店が立ち並んだほか、用意されたテラス席や人工芝などでくつろげるスペース等もあり、多くの人を訪れるなど盛り上がりを見せた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>11月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約39万人と、前年同月比5.2%増だった。</p> <p>3連休も天候に恵まれ、各施設で実施したイベントが好調であったことなどから、前年と比べて増加した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約74万台と、前年同月に比べて0.4%増だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完成車生産台数(台)	19,397	16,231	14,242	15,413	12,784	10,823	21,457	29,265	26,209
前年同月比(%)	▲ 30.2	▲ 25.2	▲ 26.9	▲ 10.9	▲ 14.7	▲ 32.8	44.1	72.9	56.1
KD輸出額(百万円)	515	752	574	570	589	624	709	779	743
前年同月比(%)	▲ 20.9	10.6	▲ 9.7	▲ 20.1	▲ 23.7	8.5	43.0	29.3	22.5

<楽 器>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産総額(百万円)	3,072	3,111	2,565	3,178	3,187	2,767	2,768	3,478	3,348
前年同月比(%)	▲ 17.5	▲ 8.6	▲ 27.8	▲ 14.8	▲ 5.0	▲ 5.7	▲ 10.1	5.3	0.4

<缶詰>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
食缶生産高(千ケース)	1,007	946	960	963	996	966	943	1,043	1,034
前年同月比(%)	1.1	▲ 2.0	8.1	▲ 3.6	3.1	▲ 0.9	▲ 2.2	7.9	4.2
うち水産缶詰(%)	▲ 5.2	▲ 5.8	0.1	▲ 5.0	5.7	6.8	▲ 0.6	6.4	2.5
農畜産缶詰(%)	15.7	7.1	31.1	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 16.4	▲ 6.3	11.3	8.5
飲料缶生産高(千ケース)	6,952	6,871	8,024	7,394	7,139	7,407	6,774	6,884	7,005
前年同月比(%)	▲ 4.2	▲ 15.7	▲ 4.4	▲ 7.2	▲ 14.8	▲ 3.2	7.6	15.8	10.4

<織 維>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
広幅織物(千㎡)	1,332	1,274	1,176	1,177	1,137	1,149	1,344	1,495	1,718
前年同月比(%)	0.8	▲ 4.8	0.5	3.5	1.5	3.5	▲ 4.7	0.1	2.4
小幅織物(千㎡)	34	31	30	28	27	24	27	29	31
前年同月比(%)	1.4	▲ 6.7	▲ 7.6	▲ 4.6	▲ 0.1	▲ 4.3	▲ 12.9	▲ 8.7	▲ 5.4

<観 光>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
観光施設(10施設)入込 (千人)	512	515	536	302	287	531	354	372	393
前年同月比(%)	5.9	1.5	▲ 15.9	▲ 17.5	▲ 14.2	▲ 5.7	▲ 9.5	12.6	5.2
有料道路(5路線)通行量 (千台)	783	699	719	656	752	890	675	724	738
前年同月比(%)	0.7	▲ 0.1	▲ 5.2	▲ 2.1	▲ 2.9	0.8	▲ 4.1	8.1	0.4

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成31年1月号 通巻513号

発行 静岡県経済産業部
平成31年1月

編集 経済産業部産業革新局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>